

## 誕生日とは

本日をもって、60歳の還暦となりました。60年生きてきた実感は全くありませんが、近年、眼が悪くなって視界がぼやけるので、身体機能もことのほか順調に老いているのだと感じるようになりました。体重は、68キロぐらいで推移し、一日1万歩の実践は続けているので、老化という波がやってくる実感は強くありませんが、着実に頭は白くなり、頭頂部の薄さも気にするようになって、懸垂ができなくなっているため筋力も落ちています。

血圧が高く、動脈硬化も進行していると人間ドック時に言われました。4年前に、北茨城市民病院で、カテーテルを使って、心臓の裏側の動脈のつまりの状況を検査しましたが、経過観察中です。

しかし、物事への興味関心は失ってはおりませんぞ。特に今後の母校の行く末については、早く手立てを講じないといけないと強く思っております。校長ができることは、声を上げることと、生徒に直接メッセージを送ることと、保護者や地域に今を発信し、未来を提言していくことだと思えます。同期生たちもまだあらゆるところで活躍していますし、連携の輪を広げていかなければなりません。

特に、磐城高校での教え子たちがようやく40歳となって、迷わなくなる世代となるはずですので、その力を十二分に発揮して、先輩諸氏や後輩たちと連携していってもらわなければなりません。

全国と同窓会に伺うと、まだまだひよっこであることを思い知ります。全国で自らの道を開拓していらしたその姿をつぶさに拝見すると、本当に尊敬します。磐城高校の血がたぎります。校歌を高らかに歌おうと思えます。

もう一度暦が回るまでは、命を長らえることはできないと考えますが、できるところまでたどり着こうと考えます。

仏文学者であり哲学者である森有正という巨人が、「遠くまで行く歳月、そして忍耐」という言葉を使っています。フランスで客死するその人生について述べたときに使った言葉であります。

過去の体験ではない、新しいことを過去のことを踏まえて新しい今のこととして自分のものにしていくことを、彼は「経験」と名付けました。

経験を積み上げていきながらどこまでも生き続け、そのことに独り耐える毎日を「人生」というのかもしれない。

ただ、自分の人生は自分だけのものではなく、様々な人々との交流の中に生まれていくはずのものなのだから、そのことを大切にしていけることが肝要だとも思えます。

60歳にして今思うことは、どこまでも、生きていこうということです。

